

第101回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	売	掛	金	買	掛	金
仕	入	売		上		受	取	手	支	払	手
支	払	手	数	料	広	告	宣	伝	費	受	取
建	物	減	価	償	却	累	計	額	修	繕	費
資	本	金	株	式	払	込	剰	余	金	利	益
未	収	入	金	未	払	金	別	段	預	金	株
発	送	費	消	耗	品	研	究	開	発	費	当

1. 広告宣伝費 ¥ 50,000 の支払いのために作成した小切手が、本日（決算日）現在、未渡しであることが判明した。なお、当社は、この小切手を作成したさいに当座預金の減少取引として処理していた。
2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
3. 建設中の建物の完成にともない工事代金の残額 ¥ 10,000,000 を小切手を振り出して支払い、建物の引き渡しを受けた。同建物に対しては、工事代金としてすでに ¥ 15,000,000 の支出をしている。
4. 普通株式 500 株の時価発行増資を行うため、公募価格 @ ¥ 50,000 で新株の引受けの募集をしたところ、申込期間中に 600 株の応募があり、受け取った代金は別段預金とした。なお、資本金の増加は、払込期日に記帳する。
5. 研究開発の目的で、材料 ¥ 100,000、消耗品 ¥ 80,000 および実験器具 ¥ 300,000 を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。これらの支出は、すべて当期の費用として処理することとした。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	50,000	未払金	50,000
2	(試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)			
3	建物	25,000,000	建設仮勘定	15,000,000
			当座預金	10,000,000
4	別段預金	30,000,000	株式申込証拠金	30,000,000
5	研究開発費	480,000	当座預金	480,000

・解説

1. 銀行勘定調整表に関する問題です。

銀行勘定調整表の問題は、第1問の仕訳問題だけでなく第3問・第5問の総合問題での出題も考えられるので、中でも頻出論点である未渡小切手は必ず出来るようにしておいてください。

ではさっそく問題を解いていきましょう。問題文に「**広告宣伝費 50,000の支払いのために作成した小切手が、本日(決算日)現在、未渡しであることが判明した**」とありますが、これがいわゆる「未渡小切手」です。

小切手を振り出し、支払いが完了したものとして処理していたが、実は先方に小切手を渡しておらず、金庫の中に小切手が眠っていたので当座預金の減少を取り消すとともに、広告宣伝費の未払いについては未払金を使って処理します。

☆参考・既に切っている仕訳

(借) 広告宣伝費 50,000 / (貸) 当座預金 50,000

★解答・未渡小切手を認識する仕訳

(借) 当座預金 50,000 / (貸) 未払金 50,000

ちなみに、買掛金について未渡小切手があった場合には未払金ではなく買掛金になりますので、間違えないように注意してください。

☆参考・既に切っている仕訳

(借) 買掛金 50,000 / (貸) 当座預金 50,000

☆参考・未渡小切手を認識する仕訳

(借) 当座預金 50,000 / (貸) 買掛金 50,000

銀行勘定調整表に関する問題は、第100回の間4や第105回の間4、第111回の間2、第113回の間4、第115回の間5、第116回の間5、第123回の間1、第125回の間3、第133回の間3でも出題されているので、あわせてご確認ください。

2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)

3. 固定資産の取得に関する問題です。

本問のように、建設中に建物代金の一部を支払った場合には、建設仮勘定を計上して支出額を記録しておき、建設完了・引渡時に建物に振り替えます。

☆参考・工事代金の一部を前払いしたときの仕訳

(借) 建設仮勘定 15,000,000 / (貸) 現金 など 15,000,000

★解答・建設完了&引渡時の仕訳

(借) 建物 25,000,000 / (貸) 建設仮勘定 15,000,000
(貸) 当座預金 10,000,000

固定資産の取得に関する問題は、第 118 回の問 5や第 120 回の問 5、第 125 回の問 4、第 128 回の問 1、第 131 回の問 3、第 139 回の問 1、第 139 回の問 5、第 141 回の問 2、第 145 回の問 1、第 147 回の問 1、第 150 回の問 2でも出題されているので、あわせてご確認ください。

4. 株式申込証拠金に関する問題です。

株式引受人から受け取った払込金は、株式申込証拠金として別段預金に預け入れます。あえて別段預金を使うのは、一時的に預かっている状態の「払込金」と、自由に使える「各種預金」とを区別するためです。

なお、本問のケースでは募集株式数（500 株）を超える 600 株分が払い込まれていますが、募集期間中は募集株式数に関係なく**払い込まれた全額**を株式申込証拠金・別段預金で処理します。

$$\text{払込金} = 600 \text{ 株} \times @50,000 \text{ 円} = \mathbf{30,000,000 \text{ 円}}$$

その後、払込期日が到来したタイミングで、500 株分の株式申込証拠金・別段預金については適切な勘定に振り替えるとともに、募集株式数を上回る分（本問の場合は 100 株）については、株式引受人に返還します。

株式申込証拠金に関する問題は、第 108 回の問 4や第 112 回の問 1、第 128 回の問 2、第 136 回の問 5、第 149 回の問 4でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. 研究開発費に関する問題です。

研究開発に関する全てのコストは、発生時に**研究開発費**で費用処理します。問題文の「材料」「消耗品」「実験器具」等のキーワードに惑わされないように気をつけましょう。

研究開発費に関する問題は第 136 回の問 3や第 141 回の問 4、第 142 回の問 2、第 146 回の問 2でも出題されているので、あわせてご確認ください。